

CentreCOM CAシリーズ用キーボード

CentreCOM CA-KB ユーザーマニュアル

このたびは、CA-KB をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は赤外線受光部を持った弊社ハードウェア製品CAシリーズを制御するための、赤外線通信式のキーボードです。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

なお、本製品で利用する製品本体のマニュアル、リリースノートもあわせてご覧ください。



本マニュアルでは本製品に対応した製品を「CA シリーズ本体」と記します。

● 対応機種

本製品を利用した操作に対応しているのは、現在以下の製品のみです。

・ CentreCOM CA100TX

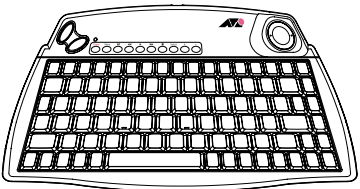
対応機種が追加された場合、弊社 Web ページの「製品情報」、またはデータシートでお知らせすることがあります。

弊社 Web ページ

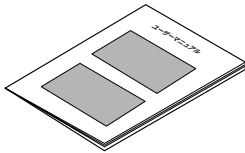
<http://www.allied-telesis.co.jp/>

1 梱包内容

最初に、梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかどうかを確認してください。
また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管してください。



□ CA-KB 1台



□ ユーザーマニュアル(本書) 1冊



□ 単三乾電池 2本



□ シリアル番号シール 2枚



□ 製品保証書 1枚

図1 梱包物一覧



安全のために

必ずお守りください

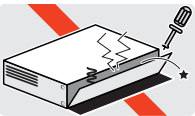


警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のアたる場所には置かない

火災や感電の原因となります。



設置場所注意

光源をのぞきこまない

目に傷害を被る場合があります。赤外線の発光部をのぞきこまないでください。

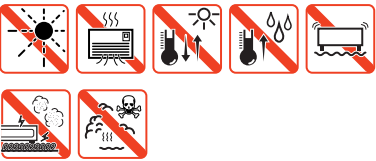


のぞかない

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・ 急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
- ・ 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所 (湿度80%以下の環境でご使用ください)
- ・ 振動の激しい場所
- ・ ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所 (静電気障害の原因となります)
- ・ 腐食性ガスの発生する場所



取り扱いはいけないに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤 (中性) をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



お手入れには次のものは使わないでください

石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん (化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)



シンナー類 禁止

2 各部の名称と働き

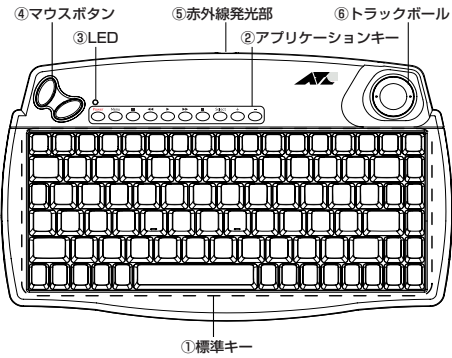


図 2 本体前面図

- ① **標準キー**
英数字および CTRL キーなどの制御キーを含んだ、PC-AT 英語 88 キー仕様。

- ② **アプリケーションキー**
CAシリーズ本体付属リモコンのボタンに対応したキーです。

- ③ **LED**
キー操作を行ったときに点滅します。

- ④ **マウスボタン**
現在、対応した機能はありません。

- ⑤ **赤外線発光部**
CAシリーズ本体をコントロールするための赤外線を照射する部分です。

注意 赤外線発光部、CAシリーズ本体の受光部を汚したり傷をつけたりしないでください。

- ⑥ **トラックボール**
現在、対応した機能はありません。

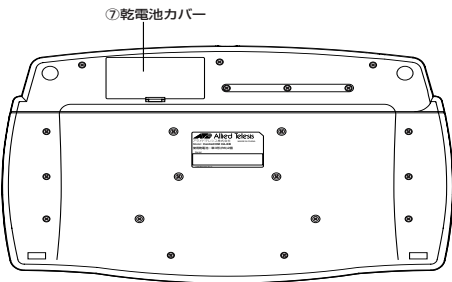


図 3 本体背面図

- ⑦ **乾電池カバー**
単三乾電池を出し入れするためのふたです。

3 乾電池の取り付け、交換

出荷状態では、キーボード本体に乾電池は入っていません。
次の手順にしたがい、乾電池を入れてください。

- ① 乾電池のカバーを外します。
② 2本の単三乾電池を、＋、－の方向に注意して入れます。
③ 乾電池のカバーを元通りに取り付けます。

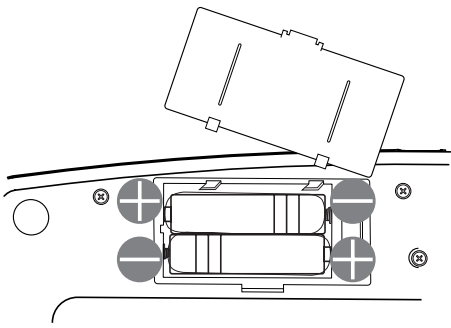


図 4 乾電池の入れ方

乾電池が無くなったときには同様の手順にて交換を行ってください。

4 キーボードの使用範囲

本製品は、CAシリーズ本体の赤外線受光部正面から以下の範囲で使うことができます。

- ・距離… 3m
- ・角度… ± 20°

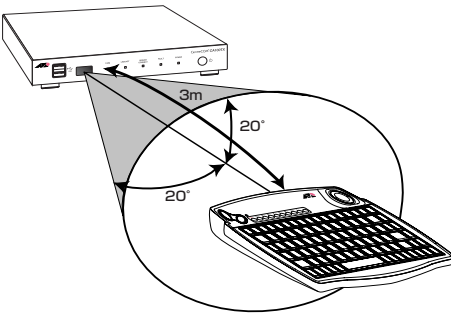


図 5 キーボードの使用範囲

5 操作方法

本製品を使うことにより、CAシリーズ本体付属のリモコンで可能な操作すべてに加えて、CAシリーズの各種設定を行うことができます。

省電力機能

本製品は省電力機能を搭載しており、キーを押下した後しばらくはスタンバイ状態でキーの押下を待機します。このスタンバイ状態ではLEDは点滅しています。
スタンバイ状態でしばらく待機した後に、LEDは消灯して本製品はスリープ状態に入り、さらに消費電力は抑えられます。

ヒント キーが常に押された状態が長く続くと、急速に乾電池を消費するので注意してください。

以下に、各キーの機能およびリモコンボタンとの対応を示します。

アプリケーションキー

アプリケーションキーは、CAシリーズ本体付属のリモコンの各ボタンの入力に対応しています。

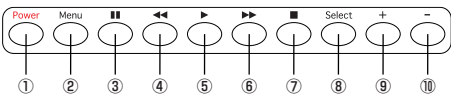


図 6 アプリケーションキー

表1 アプリケーションキーとの機能とリモコンボタンの対応

	キー	説明	リモコン
①	Power	スタンバイモードとの切り替え	
②	Menu	OSDメニュー表示	
③	II	コンテンツ再生一時停止	
④	◀◀	コンテンツ巻き戻し	
⑤	▶	コンテンツ再生	
⑥	▶▶	コンテンツ早送り	
⑦	■	停止	
⑧	Select	VoDモード/TVモード切り替え	
⑨	+	チャンネル切替（増加）	
⑩	-	チャンネル切替（減少）	

注意 乾電池のご使用にあたって

- ・乾電池を交換するときには、同じ種類、銘柄の乾電池を使うようにしてください。
- ・新しい乾電池を、古い乾電池と混ぜて使わないようにしてください。
- ・本製品を長期間使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。
- ・使用済の乾電池は、自治体の指定にしたがって、正しく処分してください。

乾電池の使用方法を誤ると、破裂したり、液漏れなどが発生して、やけどやケガの原因となります。
・ショート、分解、過熱、充電、火に入れるなどはしないでください。
・乾電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。
・万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

CLI 画面での標準キー

CLI(コマンドラインインターフェース)画面においては、標準キーは基本的にそれぞれのキートップの入力に対応しています。

表 2 CLI 画面における標準キーの対応

キー	説明	リモコン
Enter	決定	
各アルファベットキー	各アルファベット	なし
各数字キー	各数字	なし
各記号キー	各記号	なし
Space	空白	なし
Del	一文字削除	なし
BackSpace	一文字削除	なし
Ins	挿入切り替え	なし

再生画面での標準キー

通常のコンテンツ再生画面においては、以下の標準キーを押下することにより、再生およびトリックプレイの操作ができます。
また、これらのキーはOSDメニュー内でも有効です。

ヒント CAシリーズ本体がTVモードのときは、本製品を使ってもトリックプレイを行うことはできません。

表 3 再生画面における標準キーの対応

キー	説明	リモコン
Shift+Tab	OSDメニュー表示	
q	停止	
Esc	キャンセル	
Enter	決定	
i	コンテンツ再生	
j	コンテンツ巻き戻し	
k	コンテンツ再生一時停止	
l	コンテンツ再生一時停止	
カーソルキー	上下左右移動	

「qijk」などのアルファベットキーは小文字のみ有効です。

標準キーの特殊な組み合わせ

以下の標準キーを同時に押下することにより、再生画面と CLI 画面との切替ができます。

表 4 標準キーの特殊な組み合わせ

キー	説明	リモコン
Ctrl+Alt+F1	再生画面へ移動	なし
Ctrl+Alt+F2	CLI画面へ移動	なし

6 トラブルシューティング

「入力できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

- Power キーを押下しても電源が入らない。
- CAシリーズ本体の電源がオフになっていませんか。
本製品の Power キーは、スタンバイ状態のCAシリーズ本体をオンの状態にするものです。
本体の電源がオフになっている場合には、オンにすることはできません。
- キーを押下しても反応がない。
- 乾電池の電圧は十分にありますが、キーを押下したときにLEDが点滅するかを確認してください。

- 赤外線の有効範囲で使用していますか。
本製品の使用範囲は、CAシリーズ本体の赤外線受光部正面から3m、角度は±20° 以内です。

- CAシリーズ本体の動作モードは適切なものですか。
CAシリーズ本体の動作モードによっては、無効なキーがあります。
CAシリーズ本体のマニュアルもあわせてご確認ください。

- トラックボールやマウスボタンが使用できない。
本製品では、トラックボールやマウスボタンは使用できません。キーにより操作を行ってください。

7 製品仕様

本製品の主な仕様は、以下のとおりです。

表 5 製品仕様

動作電圧	DC3V(単三乾電池2本)
インターフェース	赤外線
外形寸法	308(W)×189(D)×36(H)mm
質量	495g
動作時温度	0～40℃
動作時湿度	80%以下（結露なきこと）
保管時温度	-20～60℃
保管時湿度	95%以下（結露なきこと）

8 保証とユーザーサポート

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。
本製品の故障および障害回避などのためのユーザーサポートについては、購入代理店もしくは弊社担当営業にご相談ください。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、当社は、その責を一切負わないこととします。

9 おことわり

- ・ 本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- ・ 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2004 アライドテレシス株式会社

10 商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

11 マニュアルバージョン

2003 年 12 月 Rev.A 初版
2003 年 12 月 Rev.B 記述修正
2004 年 6 月 Rev.C 記述修正